

音楽教室を開講した頃に出会った夫とは四月月のお付き合いで結婚を決めました。生徒の人数も徐々に増え仕事も軌道に乗ってきたころ、二人目が間もなく生まれるというタイミングで教室兼新居を構えました。人生が順調に進んでいると思っていたある日、暗い顔をして帰宅した夫に「会社が閉鎖される」と告げられました…。

「まだ一回も払っていない家のローンはどうするの？ これから生まれる子どもをどうやって育てるの？」あの時の衝撃は忘れられません。出産でセーブしていた仕事をフルに入れて私が働き、育児と家事を夫がすることになりました。五月月後、システムエンジニアの夫は独立の道を選択しました。元々長期出張が多かったのですが、独立後は単身赴任で仕事をすることになり結婚十九年目ですが実際一緒に生活したのはほんの数年という夫婦です。それから四年後、東日本大震災発生

民 報 サ ロ ン

後のさまざまな自粛で多い時は月に百件あったセレモニーの仕事も激減してしまいました。こんな時こそ音楽の力で遺族の心を癒やしたいと思っていましたが、所属する事務所では契約以外での葬儀場での演奏は禁止されています。どうすれば演奏することができるとか悩み続けていましたが「そうだ、

後の方から、税理士さんと無料相談できるイベントがあるという話をいただきました。起業する気満々で向かいでしたが「現状では法人化しないほうがいい」という結果でした。今の売り上げで法人化してもメリットが何もないということ。残念な思いとどこかホッとした感じと、そんな思いで帰っ

お先真っ暗からの起業



鈴木 恵

私が社長になればいいんだ」という答えを出しました。しかし、経営のことなど全く勉強したことがないので設立方法などの知識はなく、それを誰に聞いていいのかもわからない。結局、「起業」ということを何度も想像して

ある日、確定申告で毎年お世話にな

てきた記憶があります。しかし、仕事の回復が望めないこの状況…。数名のプレーヤーも抱えていたので、この方たちのためにも法人化し、演奏の場を増やしたいと思えました。「税理士さんには現状ではダメと言われたけど、それ以上にすれば問題ないでしょ」と気持ちを大きく切り

替え挑戦することにしました。二〇一三(平成二十五)年も終わろうとしていたころ、夫に相談すると「いいんじゃない」と一言だけで、家計から出資金二百万円捻出することにも気持ちよく賛成してくれたことにはとても感謝しています。そうとなれば、いつもの性格であとは突っ走るのみです。年末年始に設立方法を調べて提出書類をそろえ、年明け一気に行こう！と準備を進めました。設立日は、大好きだった祖父が他界し、その二十分後に甥(おい)が誕生したという命のつながりを強く感じた一月二十四日。夫婦それぞれ個人事業主だったのを統合し、株式会社エモーションが誕生しました。

「何かをしたい者は手段を見つけ、何もしたくない者は言い訳を見つけて」というアラビアのことわざがあります。そう、やる気があるって行動に移せば何でもできるのです。(いわき市石塚町、エモーション代表)